

## —炭素自然吸収量倍増計画—

'09/11/12,

"CO2は2007年比で777%削減できる"

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/money/20091028/208248/?P=1>

上記表題の 777%削減は誤解含み表現で、真意は{ 0 放出 2 倍等価にして、且つ現状消費維持}、成長済みの大型樹木では以下計算がある、問題は植林から成長には **10年以上?**が必要、本件議論は山本良一教授 2007 年発言の「**今後 5 年以内が勝負**」等と言う**緊急性認識**がないのが今一楽観論で**危険、だが、火急的&長期的に第一優先事項**には間違いない!!!、**気候変動危機問題は秘密隠匿せず**に公開し、**衆知-英知結集**こそが最優先でないのか!!!

[1]:**全球炭素会計<炭素人為無放出でも最大 0.3 度 C 上昇, 現状温度復帰には 90 年!! >**

<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/Global-Temperature-Fact-7.ppt>

0.3 度 C 上昇は北極圏では 3 倍、もし {**永久氷土+氷層全面融解**} があるとメタン破滅に直結、地上生命は**メタン破滅**で過去に **2 度、大絶滅**を経験してる。現状趨勢はこの方向で超危険。地球余剰熱は高温箇所から、一途に低温箇所(北極圏)へ流れる(熱力学第二法則)。

### (1) **全球炭素年間会計**

<[http://www.globalcarbonproject.org/global/pdf/GCP\\_CarbonBudget\\_2007.pdf](http://www.globalcarbonproject.org/global/pdf/GCP_CarbonBudget_2007.pdf)>(p19).

year (man made+natural) **emitt** and (oceans+land) **sink** by **photosynthesis**.

<b>+人為放出</b>	= 7.5 (8.5) PgC/y	P=10 <sup>15</sup> . C is carbon standard.
<b>+自然放出</b>	= 1.5 PgC/y.	For example)
<b>-海洋吸収</b>	= 2.3 ( <b>1.7</b> ) PgC/y	CH4=16g, but C=12g.
<b>-陸上吸収</b>	= 2.6 ( <b>1.4</b> ) PgC/y	CO2=44g, but C=12g.

**+大気中蓄積量**= 4.2 PgC/y

注 1) ここでは CO2=44g を O2 を取り除いた**純炭素量**(スミの成分)C=12 での会計に注意。

注 2) **人為放出(2007, (2008))** = 7.5, (8.5) PgC/y = 75 (85) 億トン/年。タナカ氏会計は 2006.

注 3) 海洋、陸上吸収に関しての (**IPCC (2006) 値**) と上記データは大幅に違う、**要確認作業!!!**

(2) **人為無放出量**= 75 億トン/年の削減量。

→ 自然吸収 (2.3+2.6) - 自然放出 (1.5) = 3.4 PgC/y = **34 億トン**の大気中(強制)引き抜き。

(3) タナカ氏提案は現状正味自然吸収量 (2.3+2.6-1.5=34 億トン) を更に**植林耕作で**

**100 億トン**上乗せする!、ただし現状の**人為放出 72 億トン**は許容する(実効=**28 億 t**)。

**およそ自然吸収量を倍増 (34+28=62 億 t)**する。その計算根拠は以下の通り。

[2]:タナカ氏の計算根拠は{吸収樹木一本の吸収量と必要土地面積}。

計算の前提はこれです(青色部分は筆者補足)。

1. 樹木1本当たり年間平均 CO2吸収量 約**130キログラム**(炭にした重量換算!?)  
\*20年以上の4m 長急成長型クヌギの木、毎年筆者体重2倍程度は枝切り落とし量。  
炭にした推定量は50Kgには多少難しいが、
2. 1ヘクタール(100m×100m)当たり**2000本を植林**=一本/5m<sup>2</sup>.  
\*多少狭い気もするが、高身長樹木種しだいでは可能なのかも知れない(要専門家)  
  
では、100億トンの CO2吸収量は、何本の木で達成できるでしょうか。  
  
\* 1.5ppm(30億 tC<現状最大吸引力量>)+72億 tC(人為放出全量)=100億 tC(純炭素換算量)、実物量は CO2/C=44g/12g=3.67倍
3. **100億トン/130キログラム=769億本**  
  
\*769億本/50億人= **16本/一人**。  
  
4. **必要面積は、769億本/2000本=3846万ヘクタール**。  
  
日本の国土面積(約3780万ヘクタール)とほぼ同じくらいの植林面積が必要です。  
これは日本国内では不可能なので、海外に適地を求めることになります。

しかし逆に言うと、せいぜい日本の面積と同じくらいの植林を行えば、世界のCO2を吸収超にできるのです。米国、中国、ブラジル、オーストラリアなどの大国は、日本の20倍以上の国土面積があります。それ以外にも日本以上の広さを持つ国はたくさんあります。

[3]:急ブレーキにならないが、火急的&長期的には最優先事項。

「25%削減では焼け石に水・・・,.....  
でもそれも、最近の海の酸性化などを考えると、飽和状態になったらどうなるか分かりません。結論としては、人為排出量をゼロにするのが一番いいのです」。かく述べるタカナ氏は、現実を承知、問題は北極圏の緊急性時間問題である。商売第一か、生命第一かは政治家よりも**実業界**が鍵を握る事になるだろう。気候**急変動**問題は**世界市民衆**も鍵を握るが**絶望的**でも**楽観的**でも双方不都合なのです。